

景況実感調査(4月) 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適當な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載していません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 3月に引き続き、荷動きは悪い。(3月より悪いという声もある) 荷動きが悪いせいもあり、販売価格を上げられず、各社のにらみ合いが続いている。先行き、物件の話などもあり明るいのだが、大量に材料が動く話はまだない。細かい物件は、少しずつ出て来ているので、取りこぼしの無いように対応していきたい。
- ② 物件完工に伴い売上増となったが、他は総じて不調。電気メッキ品にかなり安値提示が見られ、価格上昇の気配を削いでいる。同業他社も一様に不振と見られ、輸出大手の一部に聞かれるような景況感は、国内では実感できない。アベノミクスもムード先行。需給が締まらなければ値上げも出来ず、ここ1~2ヶ月の動向が鍵となりそうだ。新年度の開始月としては悪いスタートとなった。夏以降の引合い、物件情報は入って来ており、期待している。
- ③ 月を追うごとに悪化傾向にある。例年4~6月期は不需求期にあり、現況下での流通の値上げアナウンスは、この時点で全体の半分くらいに止まっており、腰の引けているのがうかがえる。ユーザーの理解が得られず、価格転嫁はほとんど進んでいないのが現状。仕入れは上がって来るが、流通は転嫁できるかどうか、正念場である。その他、与信面もいっそう厳しさを増している。
- ④ 国内需要が無く、日本における鉄鋼市況の回復遅れが、今後どのように影響していくのか。

中板

- ① メーカーの値上げ玉が入荷し、在庫単価が上昇したが、実需が無く市況が上がらない。値上げ転嫁に注力するも、各流通の足並みが揃っておらず、連休明けの荷動き次第か。

厚板

- ① 建材分野全体としての基調は前月と変わらない。現状の価格の動きは底値が徐々に切り上がっているが、予想されるタイト感および材料のさらなる値上がり感に比べて、まだまだ敏感に反応していない状況である。5月から始まる各高炉のミル定修により供給面で余裕がなくなると、また予定されている鉄骨案件価が動き出すと市場に逼迫感が出て来ると思われる。

— 舟爰开彡鋼

- ① 小口で即納ばかりの仕事であるが、締めてみると前月より多かった。夏場にかけて大口の建築物件も散見され、昨年第一4半期とは違うスタートを切った。

工工开彡鋼

- ① メーカーの価格据え置きやスクラップの値下げの中、需要の盛り上がりも欠けており、過去の価格転嫁に水をさされた状況となっている。GW明けに、早急な価格転嫁を行う。
- ② メーカーの生産量が多すぎて需給バランスが取れていない。生産量を落とさないと、市況上昇にはつながらない。

異形棒鋼

- ① 4月の店売りの荷動きは、年初の反動から非常に悪かった。しかし、思ったより早く悪くなったので、5月は4月よりは荷動きがあると考え。問題は価格。目線を上げて漸進的に実行していく。
- ② 新規引合いは少なく、日々の在庫販売も低調で、3月並みの動きであった。粗利益率の低下(高値玉の入荷による)や販売量の減少で採算は悪化しており、信用不安の台頭もあって厳しい商売環境である。

平鋼

- ① 若干ながら荷が動き始めたように思えるが、実感するには至っていない。価格も徐々に転嫁されつつあるが、ペースとしては遅い。簿価も上がっているため、早急にメーカー値上げ分を転嫁したいが、実需が伴わないかぎり厳しい。

鋼管

- ① 売上金額、数量ともに前月、前年同月とほとんど同じである。国内鉄鋼販売では、円安、株高の恩恵を受けていない。
- ② 例年に比べても低調なスタートとなり、値上げは困難な状況。

構造用鋼

- ① 需要環境については、自動車関連は一部大手で4月以降増産しており、ユーザーによってバラツキはあるが、下期に持ち直しの動きが見られる。建設機械関連は、7月以降、増加傾向で推移すると思われるが、先行きに不透明感はある。店売りは、活況感が乏しい状況が続いているが、一部では明るい兆しも見られる。市況については、下げ止まった状況にあり、今後、メーカーの値上げが実施されるが、現状は価格転嫁が難しい状況にあり、市況は横這いで推移している。
- ② 鉄鋼メーカーからは1万円以上の値上げ要請がある一方で、自動車集購価格は8千円下げの発表があった。この1万8千円もの値差は如何ともしがたい状況で、狭間に立つ我々中小流通業者は存亡の危機にある。
- ③ 足下は3月に引き続き低調、価格弱含み。先行き、電力料金値上げおよび円安でのユーザーの国内生産増加計画の動きに期待。

その他

<曲げ加工>

- ① 昨年同期と比較して10%以上の減少で不況に近い。大きな物件も数少なく、細かい物件で短納期。効率が悪く、いまひとつ動きが無かった。世間的には金融関係の上昇があるが、中小企業に対しては動きが見られない。早期の回復を待ちたい。

<金属表面処理加工>

- ① 前月から繰り越された物件物が動き、紐付き材も当初の計画通りに推移。スポットも受注が活発となり、計画より大幅増となる。為替(円安)による輸出案件の引合いも多く、橋梁、プラント案件の成約が活発であることから、5月も4月と同様の受注を予想。原料高により各種購入品の値上げを予告されており、今後の対応を検討。